

未来につなげるもりおかの環境

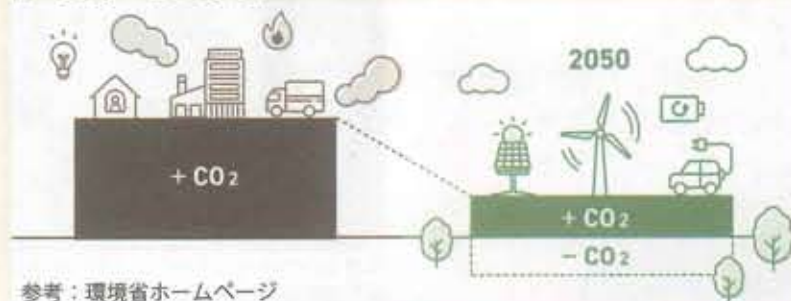
もりおかゼロカーボン 2050

市は、盛岡の豊かな自然を将来に引き継ぎ、地球温暖化を食い止めるために「気候変動対策実行計画～もりおかゼロカーボン2050～」を策定しました。ゼロカーボンとは何なのか、なぜ必要なのか。また、盛岡の環境を守るためにできることを紹介します。【問】環境企画課 ☎626-3754

1 ゼロカーボンってなに？

人間の活動によって生じる二酸化炭素(CO₂)など温室効果ガスの「排出量」から、人間が行う植林や森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることです。

図 ゼロカーボンのしくみ



参考：環境省ホームページ

ゼロカーボンで「脱炭素社会」へ

温室効果ガスの95%はCO₂。今後ゼロカーボンを目指すためにはCO₂を削減することが必要不可欠です。「脱炭素(ゼロカーボン)社会」を目指し、CO₂削減の取り組みが始まっています。

市も脱炭素社会を2050年までに達成するために「気候変動対策実行計画～もりおかゼロカーボン2050～」を策定。太陽光パネルの設置やLED照明の導入、建築物の省エネ・高断熱化に取り組んでいます。

2 なぜ対策が必要なの？

地球温暖化による異常気象や、温暖化が原因の災害が世界各地で起こっています。日本でも数十年に一度といわれるような大雨や台風などによって、大きな被害が発生しています。

今、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを減らし、地球の気温上昇を抑える取り組みが求められています。

図 地球温暖化のしくみ



参考：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト

3 身近でできるゼロカーボンへのアクション

温室効果ガスの排出を減らすには、どうすればいいのでしょうか。日常生活のちょっとしたことから取り組み、個人でできることを紹介します。実践して、ゼロカーボンを目指しましょう。

私たちの生活から多くのCO₂が発生しています

衣・食・住や移動など、私たちの普段の生活の中で消費する製品やサービスのサイクルで生じる温室効果ガスは、日本のCO₂排出量の約6割を占めています。
※参考「COOL CHOICE なぜ私たちの行動が必要なの？」(総務省)

一人あたりの年間CO₂排出量
7.6トン(平成29年)

25リットルプール

7.6杯分の
体積に相当!

家庭で実践!

テレビを見ない時は消す

CO₂削減量1日 約22.5㏩

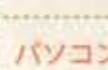
サッカーボール
2個分
年間約 8.2㏩



冷蔵庫の設定を「強」から「中」に

CO₂削減量1日 約36.2㏩

サッカーボール
4個分
年間約 13.2㏩



洗濯物はまとめて洗う

CO₂削減量1日 約7.9㏩

サッカーボール
1個分
年間約 8.2㏩



パソコンの電源を切る

CO₂削減量1日 約42.2㏩

サッカーボール
4個分
年間約 15.4㏩

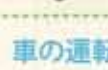


移動で実践!

3%の移動を車から徒歩に

CO₂削減量1回 約423㏩

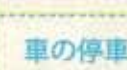
サッカーボール
42個分
年間約 22㏩



車のアクセルをゆっくり踏む

CO₂削減量1日 約531.5㏩

サッカーボール
53個分
年間約 194㏩



車の運転は加減速なく

CO₂削減量1日 約186.3㏩

サッカーボール
18個分
年間約 68㏩



車の停車は早めのアクセルオフ

CO₂削減量1日 約115.1㏩

サッカーボール
11個分
年間約 42㏩



4 市内の企業もゼロカーボンを目指す取り組みをしています

㈱タカヤ「『創エネ』と『省エネ』でエネルギーゼロに」

太陽光パネルで発電する創エネ、高効率電気設備と高断熱などによる徹底した省エネを実現。消費する年間のエネルギー収支ゼロを目指した建物「ZEB」として、県内で初めて建てられました。会社としてSDGsの目標達成にも取り組んでいます。



社屋の屋根に設置した太陽光パネル

川上塗装工業㈱「遮断熱塗装で冷暖房エネルギーを削減」

宇宙技術から開発された断熱性能が高い塗料を屋根や外壁、室内などに塗装し、冷暖房に必要なエネルギーを削減。子どもたちのために、市内で複数の学童クラブの屋根に、ボランティアで塗装する活動もしています。



学童クラブの屋根に塗料を塗る様子